



令和5年11月30日 第11号 文責 鈴木清吾

学院中だより

興誠学園教育理念「誠の精神」



「浜松学院中の秋」深まる ②

浜松学院中学校にとって実りの秋、前号に引き続き様々な学校行事をご紹介します。

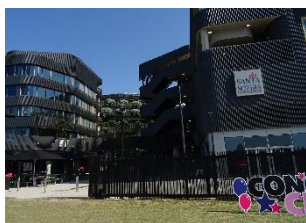
1, 2年生は遠足に行ってきました。 10/27 (金)

2学年が一台のバスに乗って、豊橋総合動植物公園・のんほいパークに行ってきました。秋空のもと園内には多くの来場者がいましたが、講師の方を招いてSDGsの講義を聞いたり、班で園内を散策したりして楽しく過ごすことができました。



オーストラリアシドニー ホームステイ 10/29~11/7

コロナ禍で訪問先を国内に変更していましたが、本年度はシドニーへの9泊10日のホームステイが実現しました。日本語がほとんど通じない環境で、一生懸命英語を話し、現地の方々と親交を深めることができました。何よりも家族のもとをこんなに長く離れた経験は初めてだったと思います。出国時は軽かった荷物も、帰りにはトランクいっぱいのお土産を手にも帰国できました。浜松駅で出迎えて頂いた家族を目にして、「ただいま」と言う生徒たちを微笑ましく見ていました。



上段左: シドニー到着、オペラハウスをバックに！
上段中: 現地とオンライン授業（1年）を行いました。
上段右: ホストファミリーと緊張の対面
下段左: 最初お通訳の方も授業の応援に参加！
下段右: 現地校 Santa Sophia Catholic College



休憩時には、バスケットボールを楽しみました。



日本の伝統の遊びとして折り紙を紹介しました。



日本語授業の「ゲストティーチャー」としてお手伝いしました。



家庭科の授業で制作した浴衣を着ての集合写真です。



現地校での生活最終日、担当の先生にお礼の気持ちを添えて寄せ書きを渡しました。

マイビジョンプレゼンテーションは来年1月24日（水）に行われ、3年生は「日本とオーストラリアの違い」を中心テーマにして発表していく予定です。
インフルエンザ等の流行状況にもよりますが、保護者の皆様の参観も計画していきたいと思っています。

生徒は各自でホームステイのレポートを作成しています。その一部を紹介します。

・現地校(Santa Sophia Catholic College)での生活について

毎日の英語の授業は難しかった。とても役立った。
初めて聞くような単語がたくさん出てきたが、聞き取ることができて意外に理解することができた。しかし、まだ知らない文法がたくさんあった。

・ホームステイの感想

最初はとても不安で、何を話せばよいのか、ご飯を食べるときにどんな表情をすればよいかわからなかったけれども、ホストファミリーの人が話しかけてくれたり悠憤と協力して話したりして何とか過ごせた。

・これまでの日本での学習の中で、オーストラリアで役立ったことは何ですか。

英語の基礎がとても役立った。また、オーストラリアの文化を知っておいたことも意外に役立った。話の話題になってよかった。

【山本大夢】

・バディとの授業はどうでしたか。

バディも優しくだったが、周りの生徒も優しく接してくれてとても楽しかった。数学の確率の授業をしていて答え方がとても難しそうだった。問題も日本の問題と全然違う感じだった。

・全体を通して、自分自身が成長したとを感じる面は何ですか。

(英語で)聞かれている質問の意味が分かったところ。少しずつではあったけれども会話ができるようになったこと。

・ホームステイを終えて

ふだんと違う環境で10日間暮らして、困ったことや苦労したことはあったが、それを含めてとてもよい10日間になったと思う。日本とは違って主食がお米ではなくパンで、国の文化にも触れることができてよかった。日本のありがたみにとても気づかされたホームステイになった。

【工藤 楓】